

事業名	食品の安全・安心推進事業費	財務コード (事業)	661506
-----	---------------	---------------	--------

細事業名	食の安全・食育実践活動推進費
------	----------------

担当部課室	企画県民 部 消費生活安全 課 食の安全・食育 担当 (内線)	2272
-------	---------------------------------	------

事業の概要

実施期間	始期 H15 年度 ~ 終期 年度
------	-------------------

実施主体	県(直営)
------	-------

事業の目的	誰(何)を対象に	その対象をどのような状態にして	結果、何に結びつけるのか
	消費者、生産者、事業者、消費者団体、その他関係者	食の安全・安心や食育への関心が高まっている	食の安全・安心の確保、食育の推進

事業の内容 主に 24年度	<p>事業概要</p> <p>消費者、生産者、事業者、学校関係者、行政などが連携協力体制を整えるため、推進大会の開催や食に関する情報・意見交換会の開催などにより、食の安全・安心確保や食育推進に県民一人ひとりが自発的に取り組む気運を醸成していく。</p> <p>食の安全・食育推進大会(9月:食の安全・安心推進月間)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・優良活動の表彰</li> <li>・講演、優良活動事例の発表</li> </ul> <p>食に関する情報・意見交換会(年3回程度)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・テーマを設定し、生産、加工(製造)、サービス、消費の各分野から情報・意見交換会を実施</li> </ul> <p>臨時職員共済費、賃金</p> <p>H24実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・やまなし食の安全・食育推進大会の開催 9月19日 表彰数 2 参加者 200名</li> <li>・食に関するリスクコミュニケーションの開催</li> <li>「食の安全を語る会」 1回 7月17日 放射性物質と食品の安全性 参加者192名</li> <li>「食の安全・安心を考える集い」 4回 (開催日)11月15日、12月20日、H25年1月24日、2月8日 (内容)食の安全・安心推進条例、遺伝子組換え、食品添加物 (参加者) 313名</li> </ul> <p>H25実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食に関するリスクコミュニケーションの開催</li> <li>「食の安全・安心を考える集い」 (開催日) 6月21日 (内容) 山梨県における牛海綿状脳症(BSE)対策 牛海綿状脳症(BSE)対策の見直しに係る食品健康影響評価の概要</li> </ul>
	<p>根拠法令等</p> <p>食育基本法、第2次食育推進基本計画(国)、山梨県食の安全・安心推進条例、第2次やまなし食育推進計画</p>

事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

事業の実施状況と目標の実現度	23年度	24年度		25年度	26年度	事業目標の考え方	
	実績値	目標値	実績値	見込値	目標値		
活動指標	食に関する情報・意見交換会の参加者数	270名	450名	505名	270名	270名	目標設定の考え方 H24は条例及び推進計画の初年度であったため、周知のための説明会等の回数を増やした。 H25年度以降は例年どおり データの出典等 過去の実績
	活動指標達成率(実績値/目標値)			112.2 %			
成果指標	成果指標達成率(実績値/目標値)			%			目標設定の考え方 データの出典等
	決算額、予算額	3,212		3,300	6,622	6,729	成果指標によらない成果 県主催の推進大会や意見交換会等に消費者、生産者や事業者をはじめ多くの関係者が連携して参加することによって、食の安全・安心、食育へ自発的に取り組む気運が醸成され、関心が高まっている。
(千円) うち一財額	3,212		3,300	6,622	6,729		
所要時間(直接分)	520 時間		620 時間	520 時間	520 時間		
所要時間(間接分)	0 時間		0 時間	0 時間	0 時間		
所要時間計	520 時間		620 時間	520 時間	520 時間		
人件費コスト単位:千円 (@2,050円×所要時間)	1,066		1,271	1,066	1,066		

これまでの事業の見直し・改善状況

H24年度から、条例に基づき、新たに「やまなし食の安全・安心優良活動表彰」要綱を制定し、個人の取り組みも表彰対象とした。  
 H25年度から、臨時職員の賃金を1名分増加して計上している。

### 活動量と成果の判断(平成24年度の業績評価)

(1) 事業は予定された活動量を上げているか。(「活動指標の達成率」等から、事業の活動量を判断)

数値判定	活動量に係る一次評価	活動量に係る一次評価の考え方	数値判定と一次評価とが異なる場合等に記入すること
H24年度活動指標達成率			
b	b		

a: 予定を超えた活動量がある(120%以上)。 b: 予定どおりの活動量がある(80%以上120%未満)。 c: 予定したほど活動量がない(40%以上80%未満)。 d: 予定した活動量に著しく足りない(40%未満)。

(2) 事業は意図した成果を上げているか。(「成果指標の達成率」、「成果指標によらない成果」から事業の成果を判断)

数値判定	成果に係る一次評価	成果に係る一次評価の考え方	必ず記入すること
H24年度成果指標達成率			
	b		県主催の推進大会や意見交換会等に消費者、生産者や事業者をはじめ多くの関係者が連携して参加することによって、食の安全・安心、食育へ自発的に取り組む気運が醸成され、関心が高まっていることから、意図した成果はほぼ上げている。

a: 意図した成果を十分に上げている(120%以上)。 b: 意図した成果はほぼ上げている(80%以上120%未満)。 c: 意図した成果は十分ではないが、対象や方法の改善により成果の向上が見込める(40%以上80%未満)。 d: 意図した成果が十分でなく、成果を上げる方法も見あたらない(40%未満)。

### 見直しの必要性(平成26年度に向けた改善等の考え方)

一次評価(担当部評価結果)		
見直しの必要性	説明	以外の判断項目
無		

・「以外の判断項目」の欄  
 必要性(a.目的の達成 b.新たな課題への対応 c.対象の変化 d.ニーズの変化 e.法律・制度の改正) 官or民(f.民間等実施) 官の役割分担(g.市町村等へ移管) 効率性(h.外部委託 i.経費節減 j.類似事業と統合・連携 k.所要時間の縮減 l.プロセスの改善) m.その他

二次評価(担当部局再評価結果) 行政評価アドバイザー会議(外部評価)での指摘事項を踏まえた担当部局による再評価

見直しの必要性	説明	以外の判断項目

・「以外の判断項目」の欄は、上記と同様とする。

### 見直しの方向(平成26年度当初予算等での対応状況)

見直しの方向	具体的な実施計画等
現行どおり	

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。なお、見直しがない場合は、「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。